



修学旅行で育んだ心

校長 田川 俊一

西阿木名中学校では、5月28日～29日に2泊3日の修学旅行に行ってきました。生徒がとても楽しみにしている行事の一つです。中学校では、3年に一度全校生徒で実施しています。生徒たちは、旅行地の事前学習で学んだことやこれまでの学校・家庭生活で学習したことを生かして、終始立派な態度でねらいに迫る、また思い出に残る素晴らしい修学旅行となりました。

今回久しぶりに修学旅行の引率をして感じたことは、たくさんの方々の支えでした。添乗員の方、バスの運転手さんやバスガイドさんはもちろん、旅行地の長崎県・福岡県・熊本県の方々の温かいおもてなしに日本人の、九州人の温かい心を強く感じることでした。私が出会った優しさを2例ご紹介します。

当日の鹿児島空港周辺は、局地的に悪天候で条件付き（鹿児島空港に着陸できないときは福岡か徳之島の空港へ引き返す）のスタートでした。少し心配な出発でした。鹿児島空港への着陸態勢に入り、到着すると思った瞬間、「ゴォー」というエンジンの爆音と共に機体が上昇する強い力を感じました。一瞬何が起きたのか理解できませんでしたが、「着陸ができなかったのだな。」と思いました。しばらくしてキャビンアテンダントの方が「天候不良のため1回目の着陸を断念しました。乗客の皆様方の大切なご旅行やお仕事に支障がないように再度着陸を試みます。」その後、10分ほど上空を旋回しながら、着陸の間を機長と地上スタッフで相談していたのでしょうか…？2回目のトライで何とか着陸することができました。機長さんの修学旅行生〈西阿木名中と東天城中〉に対する温かい思いを感じて、心の中でお礼を言うことでした。

長崎では、子どもたちは午前中自主研修〈子どもたちが立てた計画を自分たちだけの力で見学する学習〉を実施しました。私も、マップを片手に自主研修を開始しました。目的と違うところへ向かっている気がしたので、信号待ちをしているバイクの方に尋ねると、「その方向でいいですよ。」と教えていただきました。マップを見ながらしばらく歩いていると、やっぱり方向がずれている気がしたので、最初の場所へ引き返すことにしました。その途中で私を呼び止める声があったので振り返ってみると、先ほど道を教えて方が「嘘を教えたばってん、引き返してきたと。〇〇は、反対方向です。ごめんなさい。」と話しかけてくれました。わざわざ引き返してまで道を教えてくださった方に「ありがとうございます。」と深々とお礼をすることでした。

生徒のあいさつや感想からも、今回の旅行でお世話になった方々への感謝の気持ちが多く発表されていました。生徒たちは、今回の修学旅行で、いろいろなことを学び、身も心も一回りも二回りも大きく成長しました。これからの西阿木名中の9名の生徒たちの活躍にご期待ください。ちなみに、小学5・6年生も6月に修学旅行があります。

私たちの町

担任 武元 真美

22日(水)方位磁針を持って、三京のまち探検に行ってきました。みきようぬくし→お茶畑→三京坊主→和田さんの牛舎→川の中の道路の順で見学しました。わくわくドキドキがたくさん詰まった宝箱のような三京が、もっともっと大好きになりました！

Tさんは、生活科でみきようのまちの地図を作成します。Yさんは社会科で、わたしたちのまちの様子をまとめます。完成作品をお楽しみに！



三京ぬくし

6月の行事予定

- 5日(水)プール開き、愛好作業
- 8日(土)AED講習会
- 12日(水)西小との交流学习
- 15日(土)地区グランドゴルフ大会
- 20日(木)ユイの里号
- 22日(土)キッズトライアスロン
※成田君参加予定
- 28日(金)着衣水泳

